

令和 8 年度 後期 数学 出題方針と内容

難易度の高い問題は避け、基本的な知識をもとに思考し処理を行う標準的な問題とした。

< 出題構成 >

解析系：微分法・積分法（数Ⅱ、数Ⅲ）、関数（二次、三次、三角）

幾何系：図形と計量、図形の性質、ベクトル、図形と方程式

その他：数列、場合の数と確率、集合と命題

問題番号		科目	対象	出題領域	出題意図	備考	
1	1	数 C	両学科：必須	ベクトル	空間座標とベクトルに関する基本事項の理解度を問う問題。 2つの空間ベクトルの両方に垂直なベクトルの成分及びベクトルの大きさの最小値を求めることができるかを問うている。	共通：客観	やや易
	2	数Ⅰ 数 A	両学科：必須	集合 場合の数	約数の個数と集合に関する基本事項の理解度を問う問題。 2つの自然数について、約数、5で割り切れる公約数及びド・モルガンの法則を利用して公約数でない自然数の個数を求めることができるかを問うている。	共通：客観	標準
	3	数Ⅱ	両学科：必須	微分・積分の考え	数Ⅱの微分・積分の考えに関する基本事項の理解度を問う問題。 定積分を含む等式から関数を求め、曲線上の点での接線及び曲線と直線で囲まれた部分の面積を求めることができるかを問うている。	共通：客観	標準
2		数Ⅱ 数Ⅰ	システム学科：必須	三角関数 二次関数	三角関数と二次関数に関する基本事項の理解度を問う問題。 文字を含む三角関数について、パラメーターを置換した二次関数、不等式を満たす条件及び関数の最大値を求めることができるかを問うている。	システム学科：記述	標準
3		数Ⅱ	両学科：必須	図形と方程式	円と直線の位置関係に関する基本事項の理解度を問う問題。 中心と通る点から円を求め、円弧の一端の座標、円弧と直線との共有点の個数及び2つの図形で囲まれた部分の面積の最大値を求めることができるかを問うている。	共通：記述	標準
4		数 A 数 B	両学科：必須	確率 数列	確率と漸化式に関する基本事項の理解度を問う問題。 1個のさいころを繰り返し投げる試行。n回投げて1の目が出る回数が奇数となる確率の漸化式、一般項及び確率の条件から投げる回数を求めることができるかを問うている。	共通：記述	標準
5		数Ⅲ	セキュリティ学科：必須	微分法 積分法	数Ⅲの微分法・積分法に関する基本事項の理解度と計算力を問う問題。 定積分の計算、文字を含む指数関数のグラフの接線、2つの接線が一致するときの文字の値及び3つの図形で囲まれた部分の面積を求めることができるかを問うている。	セキュリティ学科：記述	標準